

【A年】

復活節第七主日（昇天後主日）

み子イエス・キリストに永遠の勝利を与え、天のみ国に昇らせられた栄光の王なる神よ、どうかわたしたちをみなしごとせず、聖霊を降して強めてください。そして救い主キリストが先立っていかれたところに昇らせてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

使徒言行録

朗読者 「使徒言行録は第一章八節から」

8 あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受けらる。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」

9 こう話し終わると、イエスは彼らが見ているうちに天に上げられたが、雲に覆われて彼らの目から見えなくなつた。10 イエスが離れ去って行かれるとき、彼らは天を見つめていた。すると、白い服を着た二人の人がそばに立って、11 言つた。

「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。」

12 使徒たちは、「オリブ畑」と呼ばれる山からエルサレムに戻つて来た。この山はエルサレムに近く、安息日にも歩くことが許される距離の所にある。13 彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の部屋に上がった。それは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。14 彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。

朗読者 「使徒言行録を終わります。」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第四七編

- 1 すべての民よ、手を打ち鳴せ＝ 神に喜びの叫びを上  
げよ
- 2 いと高き神、主は畏るべき方＝ 世界を治める偉大な王
- 3 神は諸国をわたしたちにゆだね＝ 諸国の民をわたした  
ちの足の下に置かれた
- 4 神はわたしたちのために譲りの地を選ばれ＝ 愛するヤ  
コブの誉れの地を与えられた
- 5 神は喜びの叫びのうちに＝ 主は角笛の響きとともに  
上られた
- 6 ほめ歌え、神を。ほめたたえて歌え＝ ほめ歌え、わた  
したちの王を。ほめたたえて歌え
- 7 神は全地の王＝ ほめたたえて歌え
- 8 神は諸国を治め＝ 神は尊い座に着かれる
- 9 アブラハムの神の民とともに諸国の王は集まった＝ 地  
の君たちは神のもの、神はすべての人にあがめられる

## 使徒書

朗読者 「使徒書はペトロの手紙Ⅰ 第四章十二節以下に

「あり」  
12 愛する人たちが、あなたがたを試みるために身にふりかか  
る火のような試練を、何か思いがけないことが生じたかの  
ように、驚き怪しんではなりません。13 むしろ、キリストの苦  
しみにあずかれればあずかるほど喜びなさい。それは、キリ

ストの栄光が現れるときにも、喜びに満ちあふれるため  
です。14 あなたがたはキリストの名のために非難されるなら、幸  
いです。栄光の霊、すなわち神の霊が、あなたがたの上にと  
どまつてくださるからです。15 あなたがたのうちだれも、人殺  
し、泥棒、悪者、あるいは、他人に干渉する者として、苦  
しみを受けることがないようにしなさい。16 しかし、キリス  
ト者として苦しみを受けるのなら、決して恥じてはなりませ  
ん。むしろ、キリスト者の名で呼ばれることで、神をあがめ  
なさい。17 今こそ、神の家から裁きが始まる時です。わたし  
たちがまず裁きを受けるのだとすれば、神の福音に従わな  
い者たちの行く末は、いったい、どんなものになるだろうか。  
18 「正しい人がやつと救われるのなら、  
不信心な人や罪深い人はどうなるのか」  
と言われているとおります。19 だから、神の御心によって苦  
しみを受ける人は、善い行いをし続けて、真実であられる  
創造主に自分の魂をゆだねなさい。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。  
ここで聖歌を歌う。

## 福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第十七章一節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

1 イエスはこれらのことを話してから、天を仰いで言われた。「父よ、時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現すようになるために、子に栄光を与えてください。2 あなたは子にすべての人を支配する権能をお与えになりました。そのため、子はあなたからゆだねられた人すべてに、永遠の命を与えることができます。3 永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。4 わたしは、行うようにとあなたが与えてくださった業を成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました。5 父よ、今、御前でわたしに栄光を与えてください。世界が造られる前に、わたしがみもとで持っていたあの栄光を。」

6 世から選び出してわたしに与えてくださった人々に、わたしは御名を現しました。彼らはあなたのものでしたが、あなたはわたしに与えてくださいました。彼らは、御言葉を守りました。7 わたしに与えてくださったものはみな、あなたからのものであることを、今、彼らは知っています。8 なぜ

なら、わたしはあなたから受けた言葉を彼らに伝え、彼らはそれを受け入れて、わたしがみもとから出て来たことを本当に知り、あなたがわたしをお遣わしになったことを信じたからです。9 彼らのためにお願いします。世のためではなく、わたしに与えてくださった人々のためにお願いします。彼らはあなたのものだからです。10 わたしのはすべてあなたのもの、あなたのはわたしのもです。わたしは彼らによつて栄光を受けました。11 わたしは、もはや世にはいません。彼らは世に残りますが、わたしはみもとに参ります。聖なる父よ、わたしに与えてくださった御名によつて彼らを守ってください。わたしたちのように、彼らも一つとなるためです。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」